

まちづくり交付金 事後評価シート
アーバンみらい東大宮周辺地区

平成21年12月

埼玉県さいたま市

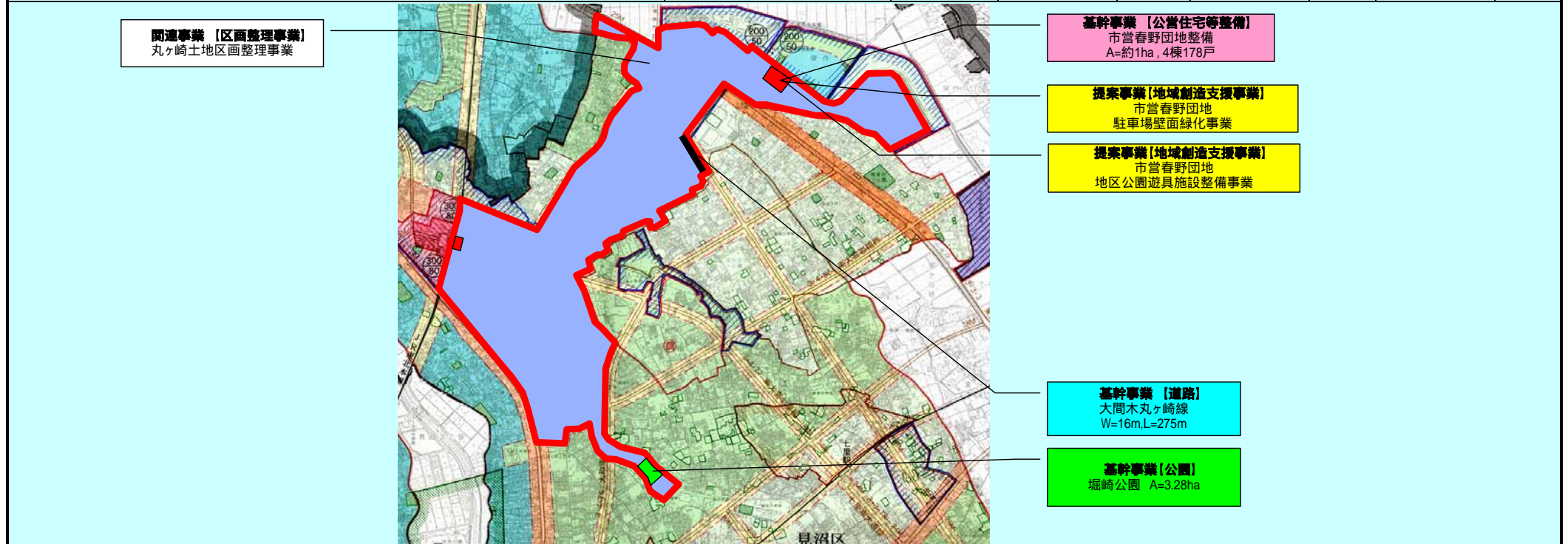
様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	さいたま市	地区名	アーバンみらい東大宮周辺			面積	198ha			
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	4,185百万円	国費率	40.0%					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(大間木丸ヶ崎線)、公園(堀崎公園)、公営住宅(市営春野団地)									
		提案事業	地域創造支援事業(駐車場壁面緑化事業、地区公園遊具施設整備事業)									
	当初計画から削除した事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		基幹事業	都市再生交通拠点整備事業(東大宮駅東口エレベーター)	JRとの協議に難航しており、まちづくり交付金の期間に完了することができないため、取りやめる。			影響なし					
		提案事業	事業活用調査(地域戦略プラン)	一体的に進める必要がある道路、エレベーターの整備工事が遅れたため取りやめる。			影響なし					
			まちづくり活動推進事業(地区交通計画検討調査(社会実験))	一体的に進める必要がある道路、エレベーターの整備工事が遅れたため取りやめる。			影響なし					
	新たに追加した事業	基幹事業	なし									
		提案事業	なし									
	交付期間の変更	当初	平成17年度～平成21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)
指標1		まちへの愛着度(定住志向)	%	61.4	基準年度 平成15年	目標年度 65	平成21年	モニタリング H19 79.5	評価値 82.0	あり なし	堀崎公園や春野団地等での環境への配慮によりまちへの愛着を生んだと考えられる。	-
指標2		区域内人口	人	34,000	平成16年	34,500	平成21年		34,688	あり なし	春野団地の整備や周辺市街地の整備により、良好な住宅地が供給されたことによると考えられる。	-
指標3		堀崎公園利用者数	人/年	49,900	平成15年	63,900	平成18年		70,913	あり なし	人工芝の整備等により通年使用が可能となり、稼働率が大幅に向上した。	-
指標4										あり なし		
指標5										あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	新設住宅に占める持家率	%	30.6	平成17年				34.0		堀崎公園や春野団地等での環境への配慮により、新設住宅に占める持家率が向上したと考える。	-
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4) 定性的な効果発現状況	公営住宅のバリアフリー化が図られ、利便性が向上し、入居希望者も多く、入居者の満足度も高い。堀崎公園の人工芝整備により、通年使用が可能になり、利用者の満足度が高まった。大間木丸ヶ崎線の整備が進められることにより、七里駅方面との交通利便性が向上する方向にある。											
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況			今後の対応方針等						
	モニタリング	目標に向けての効果や、事業プログラムの客観性を高めるために、区民会議等を活用したモニタリングに努め、情報の共有化を進める。	都市再生整備計画に記載し、実施できた			さいたま市内の市民参画で実施している事例をPRし、住民参画の機運を高める必要がある。						
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた										
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2 - 2 地区の概要

アーバンみらい東大宮周辺地区(埼玉県さいたま市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標:高齢者にも配慮した住宅供給と交通環境改善等の都市生活基盤施設を整備することにより、快適で安全な人に優しい住環境の形成と地域交流を促進する。 目標1:公営住宅の整備により、定住人口の増加とともに既存住宅居住者との融和を図る。 目標2:計画的な幹線道路整備やバリアフリー対応により、地区内の円滑な移動、公共交通機関アクセス等交通環境の改善を図る。 目標3:地区内住民が自然と共生し、健康的な生活を享受できる居住環境の形成を図る。	まちへの愛着度(定住志向)	%	61.4	平成15年	65	平成21年	82.0	平成21年
	区域内人口	人	34,000	平成16年	34,500	平成21年	34,688	平成21年
	堀崎公園利用者数	人/年	49,900	平成15年	63,900	平成18年	70,913	平成19年



まちの課題の変化

- ・幹線道路の未整備区間が残っている。
- ・東大宮駅のバリアフリー化が遅れている。
- ・高齢者の入居が増加するにたが、周辺地域における医療や福祉施設や既存公共施設のバリアフリー化が必要である。
- ・公園利用者等への安全対策として、周辺道路の整備が必要である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・市民参画により、団地や壁面緑地、街路樹等の緑地空間の維持管理体制を構築する。
- ・未整備区間、箇所の整備を促進する。
- ・増加する高齢者の生活をサポートする施設等を整備する。